

2009年9月10日
東日本旅客鉄道株式会社

「社会環境報告書2009」の発行

このたび、JR東日本グループの環境などへの取り組みをまとめた「社会環境報告書2009」を発行いたします。

持続可能な社会へ向けたJR東日本グループの活動を、環境、安全、社会の3つの側面から幅広くご紹介いたします。

1. 社会環境報告書の発行

JR東日本グループの持続可能な社会へ向けた取り組みについて、環境（地球温暖化防止、資源循環など）、安全（鉄道の安全性向上に向けた取り組み、体制など）、社会（サービス、地域貢献、社員の働きがいなど）について幅広くご紹介する「社会環境報告書2009」を発行いたします。

本報告書を通じて、多くの方に当グループの取り組みをご理解いただくとともに、ご意見をいただけるきっかけとして活用してまいります。

今回作成した社会環境報告書の主なポイントは次のとおりです。

環境のページでは、環境目標に対する実績についてそれぞれの項目についてご説明するものとなりました。また、新しい鉄道線の取り組みや、環境技術開発等についてもご紹介しています。

安全のページでは、当社における安全の考え方や、「究極の安全」に向けた設備投資の概要、安全マネジメント体制、安全に関する具体的な対策等についてご説明するものとなりました。

社会のページでは、お客さま、地域社会、社員の観点から、それぞれにおいて継続して行なっている取り組みや、新しく動き出した取り組み等をご説明するものとなりました。

今年度の「特集」は、2008年3月に発表した「グループ経営ビジョン2020-挑む-」を受け、現在の進捗や、今後の展望等について、当社役員がご説明するページとしました。

より分かりやすい社会環境報告書とするため、情報発信方法の見直しを行い、WEBでの情報発信を基本とし、冊子版では、特に進捗があった情報等を掲載しております。

2. 2008年度の環境目標の結果について（P16～P17）

2008年度は2005年1月に設定した環境目標の進捗をトレースする年度であり、別紙のとおり
の結果となりました。未達成項目については、継続的に取り組んでまいります。

ページ数はいずれも冊子版のものです。

詳しくは、「社会環境報告書2009」をご覧ください。なお、「社会環境報告書2009」は当社ホームページ（<http://www.jreast.co.jp/eco/>）でもご覧いただくことができます。

【JR東日本単体目標】

項目	2008年度 目標	2008年度 実績
鉄道事業のCO ₂ 総排出量(1)	22%削減	24%削減
自営火力発電所からの単位発電量あたりのCO ₂ 排出量(1)	40%削減	38.9%削減
省エネルギー車両比率	82%	86%
単位輸送量あたり列車運転用消費エネルギー(1)	19%削減	18.9%削減
特定フロン使用大型冷凍機	100%削減	100%削減
駅・列車ゴミのリサイクル率	45%	70%
総合車両センターなどで発生する廃棄物のリサイクル率(2)	85% (対象4年間平均値)	92% (対象4年間平均値)
設備工事で発生する廃棄物のリサイクル率(2)	92% (対象4年間平均値)	90.7% (対象4年間平均値)
自営火力発電所からのNO _x 排出量	63%削減	61.9%削減
東北・上越新幹線 騒音対策75dB以下 (騒音対策対象地域について)	100% (2009年度達成目標)	81%

1 CO₂排出量・エネルギー使用量の実績算出にあたっては、2006年度からエネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)・地球温暖化防止対策の推進に関する法律(温対法)に定める方法にて算出していますが、目標管理については、JR東日本における取り組みの経年変化を把握するため、2008年度目標設定時の係数(日本経団連環境自主行動計画・電気事業連合会の係数を参考に算出)による数値にて算出しています。

2 2005年度～2008年度の4年間の平均値

【グループの目標】

項目	2008年度 目標	2008年度 実績
一般廃棄物のリサイクル率	43%	55%
事務用紙の再生紙利用率	100%	92%
毎年具体的な環境保護活動	森づくりへの参加など	18箇所、5万4千本